

# 『自己申告書中の自己目標について進捗状況を確認するための記入シート』

作業手順①～③で整理し、第2学期にやることをビルトアップしよう。 氏名

## ◆ 第2学期への「次の一手」はこれです。(自己目標中の最優先事項を一つだけ提示してみよう)

いつまでに →  
何を →  
どうする →

手順③ これまでの実践を振り返って、第2学期にやりたいことを具体的に記入する。

S, Aに係る具体的な変化(成果)

自己評価結果の具体的な説明と

第2学期での実践内容の明確化のため

手順② 下の進捗状況評価結果の評価S, Aについては、具体的なその変化(成果)を記入する。

## ◆ 第1学期(7/15)時点での進捗状況

学習指導		学級経営及びその他の指導		学校運営	
自己申告書の項目の番号など	評価基準	自己申告書の項目の番号など	評価基準	自己申告書の項目の番号など	評価基準
・	→	・	→	・	→
・	→	・	→	・	→
・	→	・	→	・	→
・	→	・	→	・	→
・	→	・	→	・	→
・	→	・	→	・	→
・	→	・	→	・	→
例(3)※	→ A	・	→	・	→

※学習の上から2・・・などの表記でも可

評価基準=S:目標を大きく上回る A:目標を上回る

B:ほぼ目標どおり C:目標を下回る D:目標を大きく下回る

手順① 下の組織目標に連鎖させて設定した自己申告書中の自己目標を自己評価(S, A, B, C, D)をする。

S, A, B, C, Dの判断をする際にあなたの自己目標と連鎖させた①～⑫の教師側や生徒側からの判定も参考にしてみましょう。

## ◆ 古河三高の重点目標(①～⑫の12項目)

### 1 生徒が希望する上級学校進学を実現する

- ① 1年「自己発見」2年「自己発展」3年「自己実現」を目指し、生徒各人の各学年段階の進路希望を実現する。
- ② 「進路ガイド」「進路便り」を利用して適切な進路・学習指導をサポートする。
- ③ 各種講演会・学部学科説明会を実施し、適切な情報を提供する。

### 2 家庭学習の習慣化

- ④ 自主学習の習慣化につながる家庭学習時間調査を継続的に実施するとともに効率的な運用により学習時間を増進する。
- ⑤ 生徒にシラバスを提供し、生徒自身に年間を通した学習計画を立てることの重要性を認識させる。

### 3 豊かな人間性を身につけるための取り組み

- ⑥ Sanko-Day(月1回)を通して、生徒の自律・自立の心を促す。
- ⑦ 豊かな人間性を育むために、教養講座へ参加したり、図書館の蔵書を有効に活用する。
- ⑧ 団体生活や体験活動を通して「敬愛」の精神を育み、豊かな人間性を持ったリーダーの育成を図る。
- ⑨ 部活動・生徒会活動・JRC委員会・学校行事など教科外活動を充実させ責任を持って行動する態度を育てる。

### 4 広報活動の充実

- ⑩ 授業公開をPTA総会・学校説明会・学校公開で行い、中学生やその保護者や教員に対して、積極的に本校をアピールする。

### 5 個に対応した指導

- ⑪ 生徒との信頼関係を築くため、担任との三者面談週間を少なくとも年2回実施する。また、2者面談も積極的に実施する。
- ⑫ 授業進度・授業レベルを再考し、生徒の理解力の向上を図る。